接着剤の選択と接着用具

良好な測定データを得るためには，ひずみゲージが被測定材に完全に接着されていることが必要です。被測定材やゲージベースの材質，および測定条件に適した接着剤を選んで使うことが大切です。

医薬用外劇物対象品 は，劇物取締法により，購入される場合は譲受書の提出が必要となります。
（医薬用外劇物対象品譲受書はホームページよりダウンロードできます。）

航空輸送禁止 は航空法の適用を受け、航空輸送が禁止されています。

接着剤型式名	タイプ	特長	硬化条件	使用温度範囲(℃)	成分	容量	主な適用材料	主な適用ゲージ
CC-33A	常温硬化型瞬間接着剤	・常温環境下における KFG,KFR等の汎用ゲージによる 一般応力測定用接着剤に適する。 ※常用温度範囲は20～80℃ ・幅広い温湿度範囲で,各材料に対し硬化時間が短く安定している。 ・硬化が短いため,接着の作業性が良い。 ・接着後,約1時間で測定が可能。	・指圧（100～300KPa）で15～60秒。 （常温で1時間放置） 注）指圧時間は温湿度条件により変化有り。低温,低湿時は指圧時間を長くする。	−196～120	シアノアクリレート系 1液タイプ	2g×1本入 2g×5本入	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等） ※アルミ合金（A1050,A2024） ・プラスチック（アクリル,塩ビ,ナイロン,等） ・複合材料（CFRP,GFRP,プリント基板,等） ・ゴム	KFG KFGT KFR KFW KFWS KFRP KFRS KFP KFML KSP KSN（E5除く）KSPH KSPL KFL KFN KFS KFF KCH KV
CC-35	常温硬化型瞬間接着剤	・常温環境下における木材,コンクリート等の多孔質材の一般応力測定用接着剤に適する。 ※常用温度範囲は20～80℃ ・高粘度のため,木材やコンクリート等の多孔質材料への接着に適する。	・指圧（100～300KPa）で30～60秒。 （常温で1時間以上放置） 注）指圧時間は温湿度条件により変化有り。低温,低湿時は指圧時間を長くする。	−30～120	シアノアクリレート系 1液タイプ	2g×1本入 2g×5本入	・コンクリート ・モルタル ・木材	KFG KFGT KFR KC KFRP KFP
CC-36	常温硬化型瞬間接着剤	・常温環境下における大ひずみ測定用ゲージ（KFEM,KFEL）への接着に適する。 ※常用温度範囲は20～80℃ ・難接着材のアルミニウム合金（A7075）やマグネシウム合金用接着剤に適する。 ・高耐剥離強度と耐衝撃性を有し,接着強度の経時変化が小さい。 ・難接着材に対しての接着力が強い。 ・硬化時間はCC-33Aよりも長い。	・指圧（100～300KPa）で30～60秒。 （常温で1時間以上放置） 注）指圧時間は温湿度条件により変化有り。低温,低湿時は指圧時間を長くする。	−30～100	シアノアクリレート系 1液タイプ	2g×1本入 2g×5本入	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,マグネシウム合金,等） ※アルミ合金（A1050,A2024,A7075） ・プラスチック（アクリル,塩ビ,ナイロン,ポリプロピレン等） ・複合材料（CFRP,GFRP,プリント基板,等） ・プリント基板 ・コンクリート ・モルタル ・木材　・ゴム	KFEM KFEL KFG KFGT KFR KFW KFWS KFRP KFRS KFP KFML KSP KSN（E5除く）KSPH KSPL KFF KV
EP-270	常温硬化型	・極低温域までのひずみ測定におけるゲージ接着に適する。	・加圧状態（50±20KPa）で約25℃—24時間	−269～30	エポキシ系 2液混合タイプ 常温硬化	50g入 主剤:25g 硬化剤:25g	・金属（ステンレス,アルミ合金,等）	KFL
EP-340	常温硬化型	・中温域までのひずみ測定におけるゲージ接着に適する。	・加圧状態（100±50KPa）で約25℃—24時間	−55～150	エポキシ系 2液混合タイプ 常温硬化	30g入 主剤:6g×4本 硬化剤:1.5g×4本	・金属（ステンレス,アルミ合金,等）	KFG KFR
EP-34B 医薬用外劇物対象品	常温硬化または加熱硬化型	・中温域までのひずみ測定におけるゲージ接着とセンサ用ゲージの接着に適する。	・加圧状態（30～50KPa）で,約25℃で24時間または,80℃で2時間 ・テープ加圧も可能	−55～200	エポキシ系 2液混合タイプ	30.8g入 主剤:5.6g×4本 硬化剤:2.1g×4本	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等） ・プラスチック（アクリル,塩ビ,等） ・複合材料（CFRP,GFRP,プリント基板,等）	KFG KFGT KFR KFRP KFP KFH KFF
EP-180	常温硬化または加熱硬化型	・低粘度のため埋め込みタイプのボルト用ゲージ（KFG-C20）の接着に適する。	・加圧状態（50～100KPa）で,約25℃で48時間 40℃で12時間 80℃で3時間 ・ボルト用ゲージに使用する場合は,ボルト用ゲージの取扱説明書参照	−50～100	エポキシ系 2液混合タイプ	30g入 主剤:18g 硬化剤:12g	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等） ・プラスチック（アクリル,塩ビ,等）	KFG（C20） KFW KFWS KFF
PC-600	加熱硬化型	・低温から中,高温域までのひずみ測定におけるゲージ接着とセンサ用ゲージの接着に適する。	・加圧状態（150～300KPa）で　80℃—1時間 →130℃—2時間 →150℃—2時間	−269～250	フェノール系 1液,加熱タイプ	100g入	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等）	KFG KFR KFH KFL KFN KFS
PI-32	加熱硬化型	・高温域までのひずみ測定におけるゲージの接着に適する。	・加圧状態（200～500KPa）で100℃—1時間 →200℃—2時間加熱 →加圧を外して測定温度で2時間加熱 ※200℃加熱が困難な場合は200℃—2時間を160℃—5時間に変更し他は同条件で行う。	−269～350	ポリイミド系 1液,加熱タイプ	20g入	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等）	KFU KFH
PC-12B 航空輸送禁止	常温硬化型	・半導体ゲージやコンクリート用ゲージ（KC,KFG）の接着に適する。	・加圧状態（30～50KPa）で常温で2時間放置後,加圧を除去し,さらに24時間放置	−196～250	ポリエステル系 2液混合タイプ	32g入 主剤:30g 硬化剤:2g	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等） ・コンクリート ・モルタル	KFG KC KSP KSN（E5除く）KSPH KSPL
UC-26B 医薬用外劇物対象品	常温硬化型	・低温域測定において低温ゲージ（KFL）をコンクリートおよび木材に接着する場合に適する。	・加圧状態（30～50KPa）で約25℃—24時間	−269～50	ポリウレタン系 2液混合タイプ	40g入 主剤:30g 硬化剤:10g	・コンクリート ・モルタル ・木材	KFL
EC-30 医薬用外劇物対象品	常温硬化型	・低弾性用ゲージ（KFML）の接着に適する。	・加圧状態（30～50KPa）で約25℃—24時間	0～60	エポキシ系 2液混合タイプ	50g入 主剤:30g 硬化剤:20g	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等） ・プラスチック（アクリル,塩ビ,ナイロン等）	KFML
EP-17	加熱硬化型	・半導体ゲージ（KSN-2-120-E5）の専用接着剤。 （硬化時の収縮が小さい）	・→130℃—2時間 →150℃—2時間	−50～170	エポキシ系 1液,1粉末 混合タイプ	30g入	・金属（鉄,ステンレス,銅,アルミ合金,等）	KSN-2-E5
S-7	・瞬間接着剤（CC-33A）用硬化促進剤 （寒冷時等の硬化促進として適用）　容量:25g							
S-9B	・難接着材（ポリプロピレン,ポリエチレン）にゲージを瞬間接着剤で接着する場合の表面処理剤 （接着する材料の表面処理剤として適用）　容量:40g							

（注）使用温度範囲は接着剤自身のもので，ゲージとの組み合わせによりそれぞれ異なります。ご使用にあたっては，添付の取扱説明書をよくお読みの上，ご使用ください。